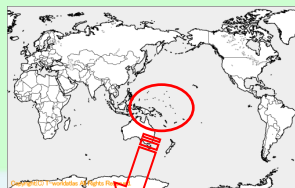


支援対象地域

大洋州地域

大洋州地域の島嶼国では、台風や地震・津波、火山噴火などの自然災害への備えが不十分だと考えられています。国土が広範に拡散している地理的な条件が、防災システムの地域での一体的な導入や災害時の緊急援助をより困難にしています。また、気候変動の影響を大きく受けている地域では、高潮や海面上昇などによる海岸浸食などへの対策が急務となっています。



気候変動により、高潮や海面上昇によって、海岸浸食の被害に見舞われているツバルの首都に位置するテオネ村

©IFRC

これまでのご支援、誠にありがとうございます。
赤十字の活動は、皆さまからのご寄付に支えられています。

年間目標額 1,500万円

皆様のご支援でできること、例えば・・・

■暴風雨被害に苦しむ人々への防水シートの提供

1世帯(バヌアツの場合)につき、約3千円

■災害対応に従事するボランティアの保険加入

1人につき、年間約200円

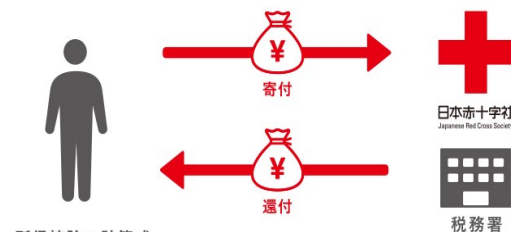
■防護マスク(災害被害による清掃や後片付け時)

1人(トンガ)につき、約30円

税制上の 優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は
確定申告することで個人の所得税や、
企業の法人税の控除を受けられます。

個人の場合・・・



所得控除の計算式

A: 年間所得額 - B: (寄付金額 - 2,000円) = C: 所得税課税対象額

※ただし、Bは、Aの40%が上限となります。

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

日本赤十字社 国際部 開発協力課

TEL: 03-3437-7089

2018年9月作成

大洋州地域 災害対策及び組織強化事業



青少年赤十字会合で気候変動の影響を視察する参加者
(キリバス)

地域リスクに備える防災活動をつづけるために

大洋州地域では、近年気候変動による影響で、熱帯性サイクロンなどが多発・強化し、各国に甚大な被害を与えています。同地域で活動中の各国赤十字社にとっては、「地域の防災力を強化し、『事前の備え』から災害後の対応、その後の復旧復興」まで息の長い活動を続けていくことが必要です。そのためには、国土が散在している離島部での地域拠点を設立するための支援や組織の強化など、赤十字の人道支援のための土台造りが大切です。日赤は国際赤十字・赤新月社連盟と協働し、各国赤十字社が地域住民の安全を向上させるため、地域内での防災・減災対策と組織強化を支援しています。



事前の備え

災害対応を効果的かつ効率的に実施し、人々の健康と安全を守るためには、日ごろからの訓練や防災・減災関係者との連携、リスク軽減活動が不可欠です。そのため、日赤は1987年から同地域における災害対策事業を、1995年から各国赤十字社の組織基盤を強化するための組織強化事業を支援してきました。



具体例① 災害への対応

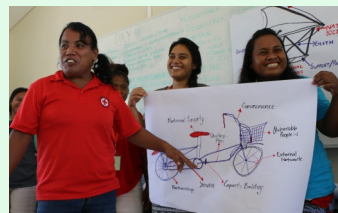
例えば、2018年1月のバヌアツのアンバエ島での火山噴火では、約1万人の住民が避難を余儀なくされました。地域の食糧や水源は噴火の影響を受けて汚染され、降り積もった火山灰の重みで住宅が破壊されたり、地滑りが併発するなど大きな被害をもたらしました。バヌアツ赤十字社は、日赤を含む国際赤十字・赤新月社連盟を通じて、仮設住宅や安眠セットなどの救援物資を5000人に配布したほか、感染症予防や「心のケア」を実施しました。

教訓の蓄積と活動の計画

いざ災害が起こったときに、誰が真っ先に駆けつけてくれるのかという問いかけに対して、赤十字の防災・減災ボランティアはその地域に住む「自分」であると答えます。行政よりも、真っ先に災害対応を迫られるのは常に「自分」であり、その地域に根付いた自主的な防災・減災の活動組織です。地域レベルでの若者や災害対応に関わる人々の防災・減災の知識や連携の強化は、日本と同様、大洋州地域においても重要な課題となっています。

具体例② 防災・減災活動

日赤の支援では、地域に根付く赤十字社を育むことで、若者や地域ボランティアの災害への対応能力の向上と、災害のインパクトを未然に軽減する活動を支援しています。皆様より寄せられた貴重な財源は、気候変動の脅威に立ち向かうボランティアが植林をするマングローブの苗木や、広域にわたる防災・減災リーダーの能力強化研修など充てられています。



事業概要

事業名：大洋州地域 災害対策及び組織強化事業

期間：1987年より継続して支援中

事業地：大洋州地域の12カ国

対象：大洋州地域の赤十字社

目的：対象地域の赤十字社が政府の補助機関として役割を担うための組織体制強化を通じて、地域防災力を向上させる

目標：1)地域の災害対応能力が高まる
2)地域の赤十字社のサービス提供能力が向上する

活動：1)災害対策のための活動
・災害時連携のための指導者育成
・防災・減災の連携メカニズムの強化
・減災マネジメント・ネットワーク会議の開催
・マングローブ植林による高潮リスクの低減活動（赤十字青少年活動への支援）
2)組織強化のための活動
・各国赤十字社の組織体制の強化
・赤十字青少年ボランティア会合の開催
・大洋州地域の財務担当者研修会の開催 等

赤十字ボランティアからの声

気候変動問題に積極的に取り組んでいくことは、気候変動の影響を実体験している私たちの地域にとって、とても大切なことです。

未来を支える私たち若者だからこそ、地域の問題に積極的に取り組むことで、弱い立場にいる人たちの力になりたいと思います。



©IFRC